

JP005 枝幸・目梨泊 (えさし・めなしどまり)

北海道：枝幸町

位置	N 45° 02′ E 142° 31′
面積	5ha

環境構成【岩礁、草地】

枝幸町はオホーツク海に面した南北 54km、東西約 7.5km の細長い町である。北端の神威岬(斜内山 438.9m)を背景に位置する目梨泊地区に、堤防で繋がった海岸に突き出した周囲およそ 600m の岩場はウミネコ繁殖地となっている。また郡界と接する南端海上約 2 km 沖のゴメ島(オオセグロカモメが主、ウミウ)と共にオホーツク海沿岸の数少ない繁殖地である。

総面積 50,947ha の約 68%を占める山林と 24%の原野が広がるこの地は、東樺太海流によって運ばれた流氷群が最初に接岸する町であるが、近年はかつてのように大氷原に何日も覆われることは少ない。

年平均気温が最も低く、日本で 1、2 を隣町と争っている。この地区の目梨泊遺跡から国重要文化財指定の埋蔵出土品 19 点が出ている。



写真：村山良子

選定理由

A4i	ウミネコ
-----	------

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか (10 パーセント未満) である
<その他>

町指定天然記念物 音標ゴメ島

保全への脅威

- ・港湾保全による堤防等作業 (昭和 40 年～平成 21 年頃迄)
- ・漁業の影響による餌資源の減少
- ・過去に高波、4 月末の降雪と戻り流氷があった
- ・時々カメラマンや遊ぶ子供、漁民が仕事等で立ち入ることがある
- ・キタキツネによる捕食

*2002年から防波堤の嵩上げと新設工事が10年間続いていた。その間急激にウミネコの繁殖数が減少していったが、後半2年は次第に回復してきた。減少原因は天敵等と思われるが不確かである。2015年は今迄に無いほど劇的回復した。

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化：
選定時と比べて増えている
備考：繁殖に支障を来たような極端な減少を経て、この2・3年増加がみられるのは、天敵と港湾工事が原因と推測される。
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査の有無：有
＜調査データの入手方法＞
オホーツク・ミュージアムえさし(枝幸町教育委員会)、記入者本人
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化がある：防波堤工事等（完了したようだ）
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：普通（70～90%が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無

保全活動

- ・ 定期的なセンサス：昭和57年より継続（天敵による攪乱のため未調査年あり）

見られる鳥

枝幸町では230種余りの野鳥が確認されている。過去には、ナベコウやミゾゴイ、ワシミミズクの飛来記録がある。平坦な海岸線のシギ・チドリや海鳥、山地を丹念に観察すれば、新しい発見があるかもしれない空白地帯が多々ある。

留鳥	オジロワシ、エゾフクロウ、エゾライチョウ、オオアカゲラ、オオセグロカモメ、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、キクイタダキ、ハシブトガラ、ヒガラ
夏鳥	ハヤブサ、トビ、ミサゴ、オオルリ、コマドリ、ウグイス、ノゴマ、ホオジロ、ノビタキ、アオジ、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、ウミウ、ウトウ、カワガラス、ミソサザイ、ウミネコ
冬鳥	オオワシ、ヒメウ、コオリガモ、シノリガモ、ホオジロガモ、スズガモ、クロガモ、ウミスズメ、ウミガラス、ケイマフリ、アビ、オオハム、カモメ、シロカモメ、ワシカモメ

旅鳥	ヒドリガモ、コサギ、アマサギ、ダイサギ、オオバン、メダイチドリ、トウネン、ハマシギ、ミュビシギ、キョウジョシギ、キレンジャク、ツグミ、マミチャジナイ、ミヤマガラス
迷鳥	クロハゲワシ、ゴイサギ、タンチョウ、ゾウゲカモメ、ヒメクビワカモメ、ヒメハジロ、コグンカンドリ、シロフクロウ、サンショウクイ、ヤマヒバリ、マミジロキビタキ

*枝幸・目梨泊の周辺海域は、マリーン IBA (Marine Important Bird and Biodiversity Areas : 海鳥の重要生息地) に選定されている。

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>



神威岬
Kamui-misaki Cape

神威岬公園
Kamui-misaki Park

目梨泊岬
Menashidomari-misaki Cape

目梨泊
Menashidomari

目梨泊小
Menashidomari Elem. S.

0 0.175 0.35 0.7 キロメートル

Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCO, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community